



社団法人 **日本電機工業会**
URL:<http://www.jema-net.or.jp>

社団法人 日本電機工業会

構成: 重電機器・システム及び家電機器に関する電気機械器具の製造業及び関連事業を営む法人・団体

目的: 電気機械器具、発電用電動機及び原子力機器の製造並びに関連事業の総合的な進歩を図り、国の繁栄、国民生活向上、世界経済発展に貢献

創立: 1940年 **社団法人として認可:** 1954年

会員数: 278社 (正会員: 184社 賛助会員: 94社) (2004年7月現在)

主な事業活動: 政府・行政への協力と提言

JeMarcheの普及・拡大

地球環境保護の推進

工業標準化活動の推進

電気エネルギーの安定供給と

利用の高度化のための開発推進

技術研究開発への支援・協力

国際協力の推進

消費者・ユーザーへの対応、

安全使用の啓発・普及活動

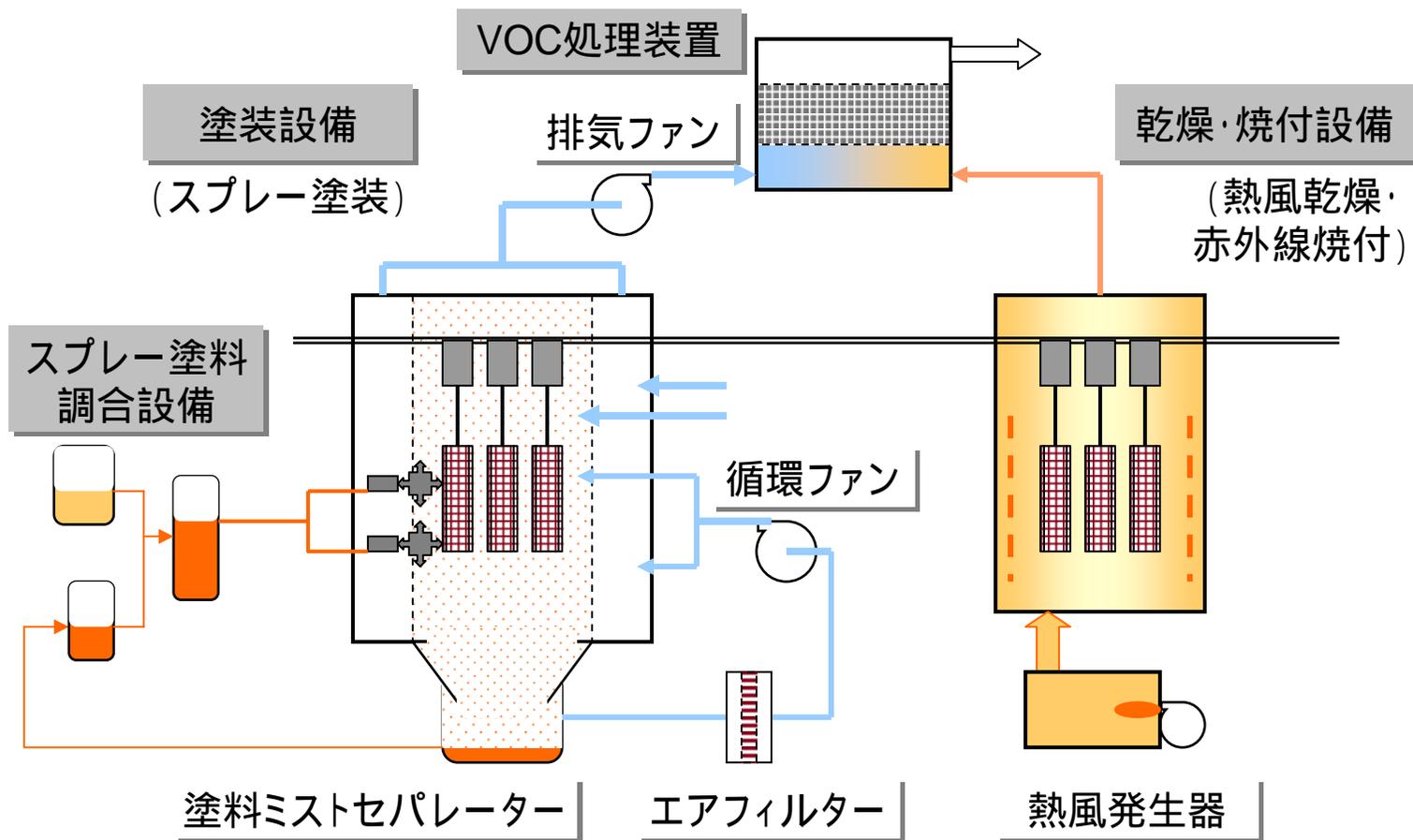
調査・広報活動 企業経営の調査研究

JEMA取扱い製品の生産額 (2002年)

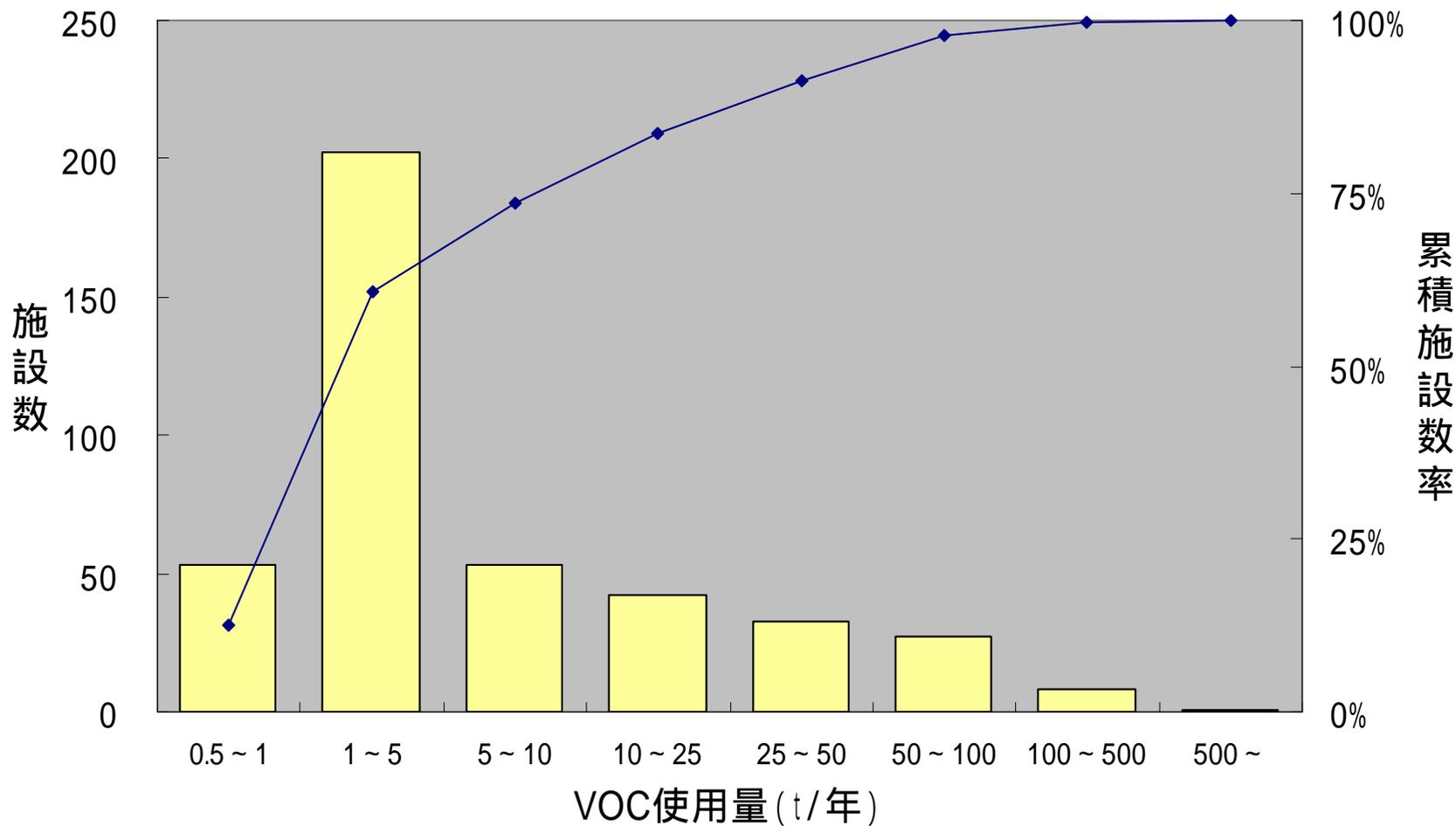
重電機器	3兆620億円
家電機器	2兆190億円
合計	5兆810億円

日本の電気機器総生産額
24兆4,470億円の20.8%

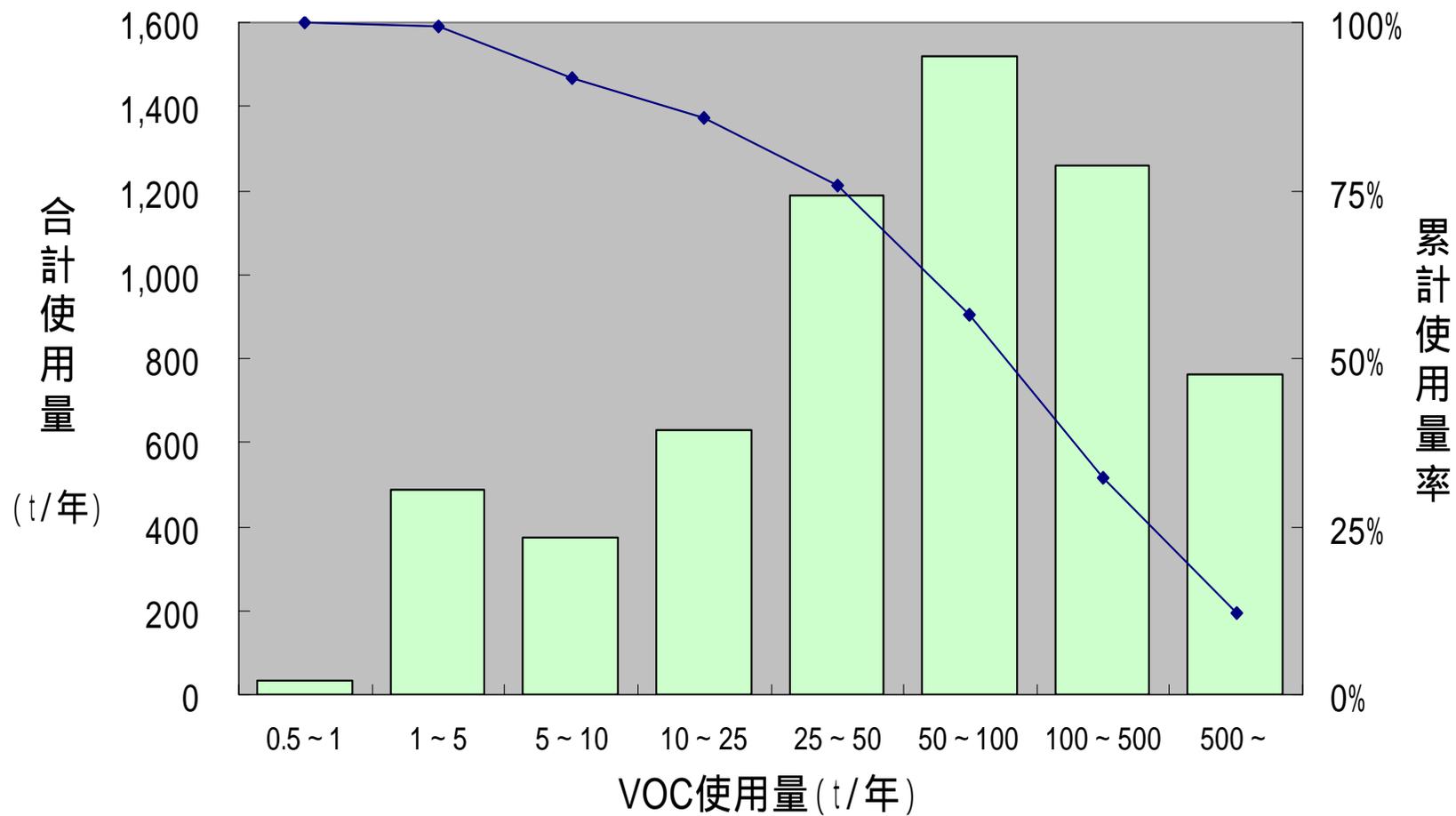
VOCを排出する施設の概要 - 塗装設備 -



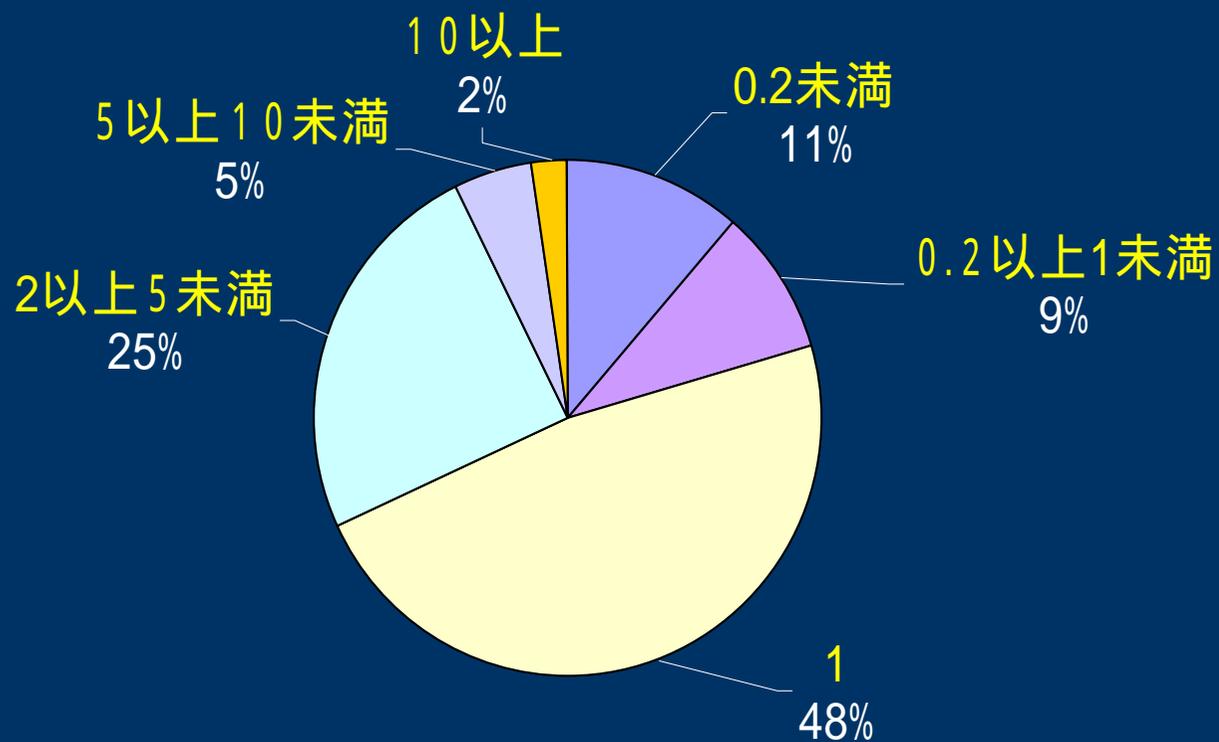
塗装装置の規模別施設数



塗装装置の規模別VOC使用量



VOCの排出の形態：排出口数 - 塗装設備 -



* 1つの排出口にN個の施設から排気が集められた場合は、該当施設の排気口数は1 / Nで表示

外形基準について

外形基準案として送風(排風)量が考えられるが、以下の点が問題

VOC使用料の少ない施設においても送風量の多い場合がある

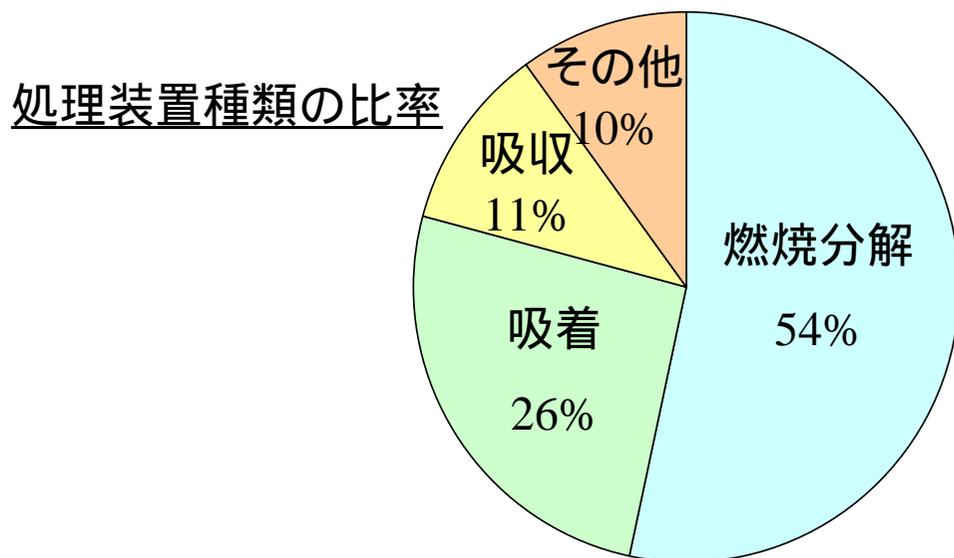
塗装施設の場合、送風量は主に作業者の安全衛生上の観点から決定されている場合が多い

塗装部分の開口面積が大きい場合、VOC使用量が少なくても送風量が多くなる

比較的小さな塗装施設が、複数で同一の排気配管に繋がっている場合の施設の単位の考え方

塗装施設以外の施設が、塗装施設の同一の排気配管に繋がっている場合の施設類型の考え方。

VOCの排出抑制対策 - 塗装施設のVOC処理装置 -



処理装置の種類	イニシャルコスト	ランニングコスト	備考 (課題等)
燃焼分解	2千万円 ~ 1億円	300 ~ 500万円/年 (助燃剤)	VOCガス濃度が薄いと助燃剤が必要. CO ₂ の発生.
吸着	2千万円 ~ 5千万円	300 ~ 500万円/年 (吸着剤交換)	吸着剤の寿命、高沸点物質による脱着不良.
吸収	1千万円 ~ 3千万円	数10万 ~ 100万円/年	廃液処理設備が必要.

自主的取組みの状況

塗装施設ではトルエンまたはキシレンを含むVOCの使用が多い。
 (施設数:74%、使用量65%)
 トルエン、キシレンの大気排出量は2002年度 / 2001年度で9%削減

VOCの大気排出量推移 (PRTR届出データ)

